

# 議会だより みほ

2017.11.1

No. 119

茨城県美浦村議会

<http://www.vill.miho.lg.jp/page/dir000035.html>

私たちの望むまち！

子ども議会を開催

(7月24日)

平成29年第3回定例会 ②

平成29年子ども議会 ⑦

一般質問 ⑫

議員活動 ⑳





## 平成29年第3回定例会

平成29年第3回定例会は、9月5日から15日までの11日間の会期で行われました。

今定例会では、村長から人事案件、条例廃止・改正、平成29年度補正予算、平成28年度決算認定など17議案が提出され、審議の結果すべての議案が原案のとおり同意・可決・認定されました。

また、議員からは意見書1件が提出され、原案のとおり可決されました。

一般質問は14日に行われ、8人の議員が登壇し、村政全般にわたり質問がなされました。

さらに、各常任委員会、議会運営委員会の任期満了に伴い、各委員会の改選が行われました。

## 平成28年度美浦村決算議会が8会計をチェックし認定

平成28年度各会計の決算認定については、「決算審査特別委員会」を設置し、慎重な審査を行い、8会計すべてが認定すべきとの結論にいたりました。

会計名	歳入累計		歳出累計		歳入歳出差額	
		前年比		前年比		
一般会計	65億930万2千円	▲2.9%	63億2,117万3千円	▲1.1%	1億8,812万9千円	
特別会計	国民健康保険	22億6,045万円	▲1.0%	21億8,912万2千円	▲1.6%	7,132万8千円
	農業集落排水事業	1億6,815万	▲3.3%	1億5,847万2千円	▲2.4%	967万9千円
	公共下水道事業	10億4,076万3千円	10.5%	9億9,601万7千円	11.1%	4,474万6千円
	介護保険	10億7,723万5千円	4.9%	10億6,133万7千円	7.9%	1,589万8千円
	後期高齢者医療	1億2,728万8千円	6.0%	1億2,603万8千円	5.9%	125万1千円
総計	111億8,318万8千円	▲0.6%	108億5,215万9千円	0.7%	3億3,102万9千円	

水道事業	収益的	収入	5億8,755万9千円	差引額	3,007万円
		支出	5億5,748万9千円		
	資本的	収入	407万2千円		▲8,838万3千円
		支出	9,245万5千円		
電気事業	収益的	収入	1億977万3千円	差引額	5,807万4千円
		支出	5,170万円		

※数値は端数調整してあるため、合計が一致しない場合があります。

**監査委員の決算審査意見**

本村の人口は減少し続けている。転出者も多く、少子化ばかりの問題ではない。まずは、村の活性化のため企業誘致に努め、空き家対策を含めた定住促進や魅力ある住みよい村づくりへの取り組みを。

監査委員 荒木昭雄  
 監査委員 椎名利夫

平成 29 年 7 月 27 日、28 日、31 日、8 月 1 日、2 日の 5 日間審査を行いました。

**《審査の結果と意見》**

各会計の決算は適法、正確に処理されており、計数的にも正確で、内容も適正なものと認めました。

①今後も厳しい財政運営を強いられると思われるので、平成 27 年度に策定した美浦村財政改革計画を実現するよう、全職員が現状を理解し危機感

を共有し、一層の努力をお願いします。

②村税等の滞納対策については、不能欠損額が前年度に比べ減少しており、これまでの地道な滞納整理等によるものと評価します。今後とも、納税の公平性の観点や、財政確保の点からも引き続き努めて頂くようお願いします。

③国民健康保険税の不能欠損額は前年度より減少しておりますが、財源不足を補うために一般会計から繰り入れている状況を鑑みれば、滞納による歳入未済額の縮減に努めてください。

④農業集落排水事業では、起債の償還や人件費等の財源に充てるため、一般会計から多額の繰り入れを行っていることから、歳入未済額の縮減と管理費等の経費削減に努めてください。公共下水道事業では、起債残高が多く今後の事業を推進していく上で心配ですが、事業推進と共に加入率、

接続率の向上と歳入未済額の縮減、施設管理経費の削減に努めてください。

⑤高齢化が進み、医療費や介護給付費などが増え続けております。その抑制のため、地域包括支援センターが実施している予防対策の参加者などに意見を聞きながら、より充実した対策を講じてください。

⑥水道事業は供用開始から 38 年経過しているものの起債残高が依然として残っており、管理経費の削減や使用料の歳入未済額の縮減を図りながら償還財源の確保及び、水の安定供給に努めてください。

⑦電気事業は、今や村の貴重な財源として期待されておりますが、実質的な売電がスタートしてまだ 2 年であり、平成 29 年度からは起債の元金償還も始まることから、手を緩めることなく引き続き施設や周辺の管理に万全を期してください。

**議会運営委員  
 議会常任委員の選任**

各委員の任期満了に伴い、次のとおり選任が行われました。

**【議会運営委員会】**

- 委員長 石川 修
- 副委員長 林 昌子
- 委員 沼崎 光芳
- 委員 下村 宏
- 委員 椎名 利夫

**【総務常任委員会】**

- 委員長 下村 宏
- 副委員長 山崎 幸子
- 委員 沼崎 光芳
- 委員 塚本 光司
- 委員 松村 広志

**【経済建設常任委員会】**

- 委員長 椎名 利夫
- 副委員長 岡沢 清
- 委員 小泉 嘉忠
- 委員 葉梨 公一

**【厚生文教常任委員会】**

- 委員長 林 昌子
- 副委員長 飯田 洋司
- 委員 石川 修
- 委員 小泉 輝忠
- 委員 竹部 澄雄



# 補正予算

## 補正予算を可決

今回の補正予算は、平成 29 年度当初予算編成段階で不確定であり、計上を見送っていたもの及び緊急性を要する事業に係る補正が主となっています。

会計名		補正額	予算総額
一般会計		1,003 万 1 千円	55 億 1,201 万 9 千円
特別会計	国民健康保険	8,450 万 2 千円	22 億 3,230 万 2 千円
	農業集落排水事業	545 万 9 千円	1 億 6,725 万 9 千円
	公共下水道事業	1 億 5,174 万 4 千円	9 億 7,874 万 4 千円
	介護保険	1,570 万 6 千円	10 億 6,020 万 6 千円
企業会計	水道事業	収益的 支出	35 万円
		資本的 支出	350 万円
			5 億 8,249 万 8 千円
			8,398 万 4 千円

## 監査委員を選任

監査委員 荒木昭雄氏から本年 9 月 30 日をもって辞職する旨の辞職願が提出されたことに伴い、後任に下記の方を選任しました。

識見を有する者として選任された委員 殿岡勝夫氏

【任期 平成 29 年 10 月 1 日から平成 33 年 9 月 30 日】

## 請願

◆教育予算の拡充を求める請願

【請願者】

茨城県教職員組合

吉田 豊 外 63 名

【紹介議員】

山崎幸子議員

【要旨】

学校現場における課題が複雑化・困難化する中で、子どもたちのゆたかな学びを実現するため、きめ細やかな教育の実現のために少人数学級を推進すること。また、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。

【議決結果】

採択

【意見書提出先】

内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

# その他の議案と審議内容

区分	議案	議案内容
条例廃止・改正	美浦村相撲場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	相撲場の老朽化に伴い本年度予算措置されていた相撲場撤去工事が完了したことにより条例を廃止するものです。
	美浦村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例	子ども・子育て支援法施行令の一部改正に伴い、関連する条例の改正を行うもので教育給付に係る第4階層に属する世帯のひとり親等に対する利用者負担額を国で示している3,000円に改正を行うものです。

## ポロシャツ議会を開催



この『ポロシャツ議会』は、村をアピールすることにも村政や議会に関心を持つてもらうという思いから実施し、同じポロシャツを着て一体感を高め、議会と執行部が丸となつて今後村のPRや発展のために取り組んでいくと決意を新たにいたしました。



平成30年3月まで実証運行を行っている稲敷エリア広域バスを利用して、議員全員で龍ヶ崎市議会の一般質問を傍聴して来ました。

みなさんも機会がありましたら、この稲敷エリア広域バスをどうぞご利用ください。



稲敷エリア  
 広域バスを利用して  
 龍ヶ崎市へ！

# 平成 29 年第 3 回定例会議案・審議結果一覧

会期：平成 29 年 9 月 5 日～9 月 15 日

議案番号	件名	議決結果	賛否数		議員名														
			賛成	反対	松村 広志	竹部 澄雄	葉梨 公一	小泉 嘉忠	塚本 光司	岡沢 清	飯田 洋司	山崎 幸子	椎名 利夫	下村 宏	林 昌子	小泉 輝忠	石川 修	沼崎 光芳	
1号	監査委員の選任について	原案同意	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2号	美浦村相撲場の設置及び管理に関する条例を廃止する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3号	美浦村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4号	平成 29 年度美浦村一般会計補正予算（第 2 号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5号	平成 29 年度美浦村国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6号	平成 29 年度美浦村農業集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7号	平成 29 年度美浦村公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8号	平成 29 年度美浦村介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9号	平成 29 年度美浦村水道事業会計補正予算（第 1 号）	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10号	平成 28 年度美浦村一般会計歳入歳出決算認定の件	原案認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11号	平成 28 年度美浦村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定の件	原案認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12号	平成 28 年度美浦村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定の件	原案認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13号	平成 28 年度美浦村公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定の件	原案認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14号	平成 28 年度美浦村介護保険特別会計歳入歳出決算認定の件	原案認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15号	平成 28 年度美浦村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定の件	原案認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16号	平成 28 年度美浦村水道事業会計決算認定の件	原案認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17号	平成 28 年度美浦村電気事業会計剰余金の処分及び決算認定の件	原案可決・認定	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議案第 1 号	教育予算の拡充を求める請願	採択	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
発議第 1 号	教育予算の拡充を求める意見書	原案可決	13	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長（沼崎 光芳議員）は、可否同数のとき以外は表決に加わりません。  
 ※「○」は賛成、「×」は反対、「-」は欠席を表します。



今よりもっと  
好きなまちにするために

# 美浦村子ども議会

～美浦村の将来を思い、自分たちの考えを提案しました～



美浦村議会は、次代を担う中学校の生徒に美浦村の将来を考え、質問することでまちづくりに関心を深めてもらうとともに、中学生の要望や意見を聞いて、今後のまちづくりの参考にしたいと考え、子ども議会を7月24日に村議会場で開催しました。

美浦中の生徒20人が議長1人、議員18人、議会議務局長1人に分かれ、村議会と同様に議会を進め、代表の8人が村長はじめ村執行部に質問や提言などを述べました。

質問を終えた議員からは、「すごい緊張した」「ちゃんと意見を言えてよかった」などの意見が聞かれ、また、傍聴人からは「子どもたちなりの美浦を思う気持ちで質問にあらわれていた」、傍聴した生徒からは「ボランティアに参加しようと思った」「将来の美浦村について考えてみようと思った」などの意見が寄せられました。

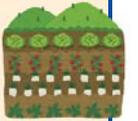
それでは、この日の質問や意見の一部を次頁から紹介します。



右 高野 亜依斗 事務局長  
左 橋本 香菜 議長



## 美浦村の産業を発展させるために



あ べ ま え む  
安 舞  
議 員

**質問** 村が再生可能な土地を  
買い取ることは可能ですか。

**答弁** (経済建設部長) 利用  
目的のない場合、農地を取得  
することは農地法の規定によ  
り出来ませんが、村としても  
農業の活性化に努めていきたい。

**質問** 次に美浦村にはどの位  
の特産品がありますか。

**答弁** (経済建設部長) 苺、  
マッシュルーム、パプリカ、  
水産加工品などたくさんの特  
産品があります。

**質問** 特産品の調理法や見分  
け方など、農家の方にインタ  
ビューし、レシピ本を作るの  
はごうででしょうか。

**答弁** (経済建設部長) 将来  
的にはレシピ本等作成できる  
よう検討したいと考えます。

**質問** 私も美浦村に住んでい  
るものとして、中学生ならで  
はのアイデアを出し、美浦村に  
貢献していければと思います。

**質問** 美浦村ではどの位の土  
地が農地として使われ、どの  
位の土地が余っていますか。

**答弁** (経済建設部長) 美浦  
村の農地は田、畑、合計で  
約1,378ヘクタールで  
す。この内再生可能面積は約  
103ヘクタールです。

**質問** 再生可能な土地を生か  
し農業をすることは可能です  
か。

**答弁** (経済建設部長) 法律  
の規制の上では、農業を行う  
ことは可能ですが、農業従事  
者の高齢化や減少、米に対す  
る政策の見直し等、現実的に  
は非常に困難であると言わざ  
るを得ません。

## 美浦村の生徒の学力向上について



く ま が い ま な み  
熊 愛  
谷 美  
議 員

ていませませんが、全国的な調査  
によると、睡眠が十分でない  
と答える中学生は約24%で、  
美浦中でも同じような傾向で  
はないかと考えます。

**質問** 美浦村では、学力向上  
についてどのような対策を  
行っていますか。

**答弁** (教育次長) 平成29年  
度、子供に対する取り組みを  
強化するため、子育て支援課  
を設置しました。このほか、  
教育環境の整備にも力を入れ  
ており、村独自の予算による  
先生方やICT支援員の雇用、  
サマースクールの開催など、  
良い学習環境で学んでもらえ  
るよう努めています。

**質問** ほかに進学実績が上  
がったとされる、午後に睡眠  
をとる「午睡」というものが  
あるのですが、どうお考えで  
すか。

**答弁** (教育長) 体には体内  
時計があり、自立性があるこ  
とが分かっています。規則正  
しい睡眠をとることが体内時  
計を働かせ、結果的に学習能  
力も上がり、成果も出ると考  
えており、午睡よりも規則正  
しい生活習慣を身につけるこ  
とを優先するべきものと考え  
ます。

**質問** 学生のどれくらいの人  
が満足に睡眠時間を取れてい  
るかについてお尋ねします。

**答弁** (教育次長) 美浦村で  
は、睡眠に関する調査は行っ  
た。

**質問** 生徒自身が規則正しい  
生活習慣を身につけることが  
重要であることが理解できま  
した。

## 外国人住民に住みやすい環境づくり



おおにし やくも  
**大西 八雲**  
 議員

**質問** 外国人住民の方々に對して、どのような取り組みを行っていますか。

**答弁 (総務部長)** 選挙など法律で制限がある場合以外は、日本国籍の方と同様のサービスを受けられます。村の施策が分かるよう村ホームページでは翻訳機能がついており、また、江戸崎地方衛生土木組合でも、ごみ収集カレンダ－を外国語で作成しています。

**質問** 日本語でのコミュニケーションが困難な方にはどのような取り組みを行っていますか。

**答弁 (総務部長)** 本村には、美浦村国際交流協会があり、

村でも活動を支援してあります。外国人のための日本語教室や生活相談などの実施をしております。また、学校からの要請により外国人児童の日本語教育も行いました。

**質問** 次に、多文化共生について質問します。村は外国人住民と交流する機会の必要性を感じていますか。

**答弁 (総務部長)** 本村では外国人英語指導助手派遣事業として、保育所から中学校まで外国人による語学指導の実施をしております。また、中学校では台湾の中学校と交流をしており、これらは外国の文化に触れあう機会であり、多文化共生につながると考えています。今後、多文化共生につきましては、外国の方の居住動向などを見ながら、どのような機会を設けていくか考えていきたい。

## 高齢者へより良い支援のために



おりよせ けい  
**折寄 圭**  
 議員

**質問** 高齢者の移動手段として、デマンド乗合タクシーを運行していますが、高齢者にとのくらし認識され、どのくらい利用されていますか。

**答弁 (保健福祉部長)** デマンド型乗合タクシーは、公共交通の空白地域の活性化や交通弱者対策として平成20年8月より運行し、運行区域については、村内全域と阿見町の東京医科大学茨城医療センターとしています。利用にあたっては会員登録制となっております。平成28年度末の登録者数は651名、うち65歳以上の高齢者は531名で全体の82%を占めています。また、

利用者数は、全体で延べ5,598名で1日平均延べ23名が利用しています。行先については、村内病院や東京医科大学茨城医療センターなどの医療機関で約74%、そのほか、スーパー14%、公共施設5%、金融機関3%となっております。

**質問** 美浦村内には、商業施設や娯楽施設がとも少ないので、運行区域をもっと拡大することは可能でしょうか。

**答弁 (保健福祉部長)** 運行区域については、村内全域と阿見町の東京医科大学茨城医療センターを運行区域として陸運局の許可を得ています。周知については、広報やホームページ等で周知しています。議員におかれましては、何らかの機会に地域の方々へPRして頂ければと思います。



現在の霞ヶ浦について



星野 珠希 議員  
ほしの たまき

**質問** 霞ヶ浦は昔、きれいで泳げていました。現在、霞ヶ浦をきれいにする活動は具体的にどのようなことを行っていますか。

**答弁** (経済建設部長) 霞ヶ浦をきれいにする活動ですが、国では、底泥の除去、霞ヶ浦導水事業、茨城県では国の基準よりも大幅に厳しい基準で事業所からの排水規制を行っています。美浦村では、霞ヶ浦をきれいにするための事業として、河川の水質検査、食用残廃油の回収、下水道の整備及び霞ヶ浦沿岸のゴミ拾い清掃を実施しています。そのほか、下水道が整備されてい



ないエリアでの浄化槽設置に対する補助金の交付を行っています。

**質問** 霞ヶ浦がきれいになれば、観光客も増加していくと思います。霞ヶ浦をきれいにするために、美浦村でボランティアを募集し活動してみようでしょうか。

**答弁** (経済建設部長) 霞ヶ浦をきれいにするボランティア活動については、NPO法人水辺基盤協会が主催する53 PickUP (53ピックアップ) というゴミ拾いイベントがあり、今年は301名が参加し、1トン以上のごみが回収されたということです。このようにボランティア活動はいろいろな形で行われておりますので、今後、実施方法等を含め前向きに検討したいと考えております。

「みほーす」の今後の活動について



下村 知佳 議員  
しもむら ちか

**質問** 今年から新たに美浦村のマスコットキャラクター「みほーす」が誕生しました。そこで、近隣市町村のみならず、全国へのPRについてどう考えてでしょうか。

**答弁** (総務部長) 初お目見えから4カ月ほど経過し、皆さんも少しずつ愛着がわいてきたものと考えておりますが、今後の全国展開につきまして、美浦村を知っていただくためにも「みほーす」の知名度を一層上げていく必要があります。ゆるキャラグランプリへの参加や各地のお祭りイベントへの出演、テレビ、ラジオなどの媒体にも積極的に登場



することが知名度アップにつながっていくと考えています。

**質問** 他の市町村のマスコットキャラクターとのコラボについては、どう考えですか。

**答弁** (村長) 美浦村のイベントだけでなく、美浦村と関係のある自治体のイベントなどに参加して、美浦村をPRできればと考えています。特に、いろんな自治体のゆるキャラが登場するゆるキャラグランプリに参加して、「みほーす」を日本中に周知できればと思っています。是非、みなさんのアイデアをお寄せいただいて、「みほーす」というと美浦村って分かるくらい、大きな存在になっていくことを期待しています。

**質問** 良いアイデアが浮かび次第、提案させて頂きたいと思えます。

## 通学路に工事



うづき もえ  
 津木 萌  
 議員

ソリッドシートを設置し事故防止に努めています。

**質問** 危険箇所へのカーブミラーや信号の設置についてはどうお考えですか。

**質問** 夏になると、草が茂って道幅が狭くなり危険な状態となります。道路の草刈はどの時期にやっていますか。

**答弁** (経済建設部長) 区長さんからの要望を受け、現地を確認の上設置しています。また、危険箇所があれば安全施設や看板等を設置しています。

**答弁** (経済建設部長) 毎年7月の最初の日曜日に各地区の住民の皆様が、また、ボランティアを募り年2回、7月下旬と10月上旬に草刈を行っています。そのほか、村職員により草刈を行っています。

**質問** 登下校時の安心、安全にはどのような取り組みをしていますか。

**質問** 通学時間帯の車のスピードへの注意喚起はどのようにしていますか。

**答弁** (経済建設部長) 挨拶運動、立哨活動やパトロール等の活動をしています。やはり、人の目による犯罪を抑止することが大切だと考えます。

**答弁** (経済建設部長) 特に危険が高いと思われる場所には、路面表示や掲示板を、更に事故の発生した路線には、

**質問** 私は、美浦村の安心安全が今よりもっと整えば私たちが、地域の人たちにとっても、住みやすくなると思います。これらの質問をしました。



## 美浦村の産業に工事



はなし みつ  
 葉梨 未羽  
 議員

あんこう祭や稲敷市のチューリップ祭りなどの村外のイベントにも出店をしてPRをしております。

**質問** 美浦村ではどのような産業を行っていますか。

**質問** 美浦村の公式ホームページでアピールするのが良いと思いますが。

**答弁** (経済建設部長) 平成26年度事業所、企業統計からみますと、農業や漁業が主な第1次産業が3%、建築業や製造業である第2次産業が28%、販売等を主とする第3次産業が69%となっています。

**答弁** (経済建設部長) これまでの実績から見てもインターネットの力は大きいと考えますので、産業のPRにホームページの活用は大変有効であると考えます。

**質問** その産業をもっとPRすればもっと多くの人に美浦村を知ってもらえると思いますが、現在、どのような方法でPRを行っていますか。

**質問** これからの目標などがあればお聞かせください。

**答弁** (経済建設部長) 農家、農協、商工会等と連携し、村内のイベントで特産品の販売などを行い、また、大洗町の内

**質問** 私たちが大人になった時、美浦村が産業で発展していることを願います。





一 般 質 問

安全安心な本村の見守り協定の今後は



い い だ よ う し  
飯 田 洋 司  
議 員

**質問** 本年5月に郵便局との見守り協定を数年越しで締結したが、現在までの実績と他に協定は望めないか伺う。

**答弁** (総務部長) 郵便局員が業務中に本村の住民等の異変に気付いた場合、業務に支障のない範囲で情報を提供していただく協定を締結したわけだが、現在まで情報提供はない。また、他の見守り協定については、茨城コープ生活協同組合、生活協同組合パルシステム茨城、村内新聞店と協定を結び協力をいただいている。協定は結んでいないが、

村社会福祉協議会の配食サービスやヤクルト販売会社による独居老人宅へ、宅配に伴う見守りサービスも実施している。

去年配備した防災倉庫の  
地域連携と利活用は

**質問** 防災倉庫の備蓄状況と今後の利活用について



**答弁** (総務部長) 各小学校における想定被災人員、大谷小学校444人、安中小学校102人、木原小学校246人の1日分の食料を備蓄している。また、今後の活用方法

については、小中学校での防災教室や各地区などの防災訓練、村の防災訓練などで備蓄品を利活用していきたい。

みほふれ愛プラザについて

**質問** 地域交流館のウェブ予約は。

**答弁** (教育次長) 公共施設のウェブ予約は、茨城県が市町村とともに茨城公共施設予約システムを運用しており、県内44市町村中23市町村が利用している。地域交流館のウェブ予約については、他の公共施設と合わせて経費や予約料金規定、システムの関係など導入に向けて調査検討していく。

**質問** みほふれ愛プラザの時間延長と直売所の売り上げ及び来客者増加対策は。

**答弁** (教育次長) 交流館の開館時間の延長については、

今後、18時以降の利用を求め利用者の要望を踏まえ検討していく。



**答弁** (経済建設部長) 直売所の営業時間については、オープン前に十分協議し、また、運営の参考としたポケットファームどきどきつくば牛久店の営業時間などを参考に決定した。現在のところは、これまでと同じ営業時間で運営していきたい。今後の売り上げと来客者増加対策については、これまで同様、JA茨城かすみや株式会社まちづくり美浦等と意見交換を重ね、集客性と魅力を上げていく方針を検討していく。

「ヘルプマークとヘルプカード」について



やまざき さちこ  
**山崎 幸子**  
 議員

**質問** 精神障害を抱えている人、義足や人工関節の人、内  
 部障害や難病の人、または、  
 妊娠初期の人など、外部から  
 は援助や配慮を必要としてい  
 ることが分からないことがあ  
 る。「ヘルプマーク」は、そ  
 うした人々が周囲に配慮を必  
 要としていることを知らせる  
 ためのものである。  
 また、「ヘルプカード」は  
 免許証サイズで裏面に支援し  
 て欲しいことなどを記入でき  
 るようになっていて、本村で  
 も「ヘルプマーク」と「ヘル  
 プカード」を導入すべきと思  
 うがいかがか。

**答弁** (保健福祉部長) 「ヘ  
 ルプマーク」は茨城県で現在  
 導入を検討している状況にあ  
 り、県の動向に合わせて検討  
 していきたい。  
 「ヘルプカード」は、本村  
 においても早い時期に配布で  
 きるように、現在準備を進め  
 ている。



**質問** 「ヘルプカード」は、  
 美浦村で現在準備をしている  
 とのこと、うれしく思う。「ヘ  
 ルプマーク」に関しては、茨

城県で現在導入を検討してい  
 るとのことだが美浦村とし  
 て、県に先駆けて導入したら  
 どうか。



**答弁** (村長) 県の動向が遅  
 れるようであれば県に先駆け  
 て、「ヘルプカード」の発行  
 と一緒に「ヘルプマーク」も  
 導入していきたい。

「乳がん自己触診用  
 グローブ」について

**質問** 乳がんは自分で発見で  
 きる唯一のがんであり、早期  
 発見が重要である。それには

日頃から自己触診による身体  
 の状況のチェックが大切であ  
 る。「自己触診用グローブ」  
 というものを装着すると、髪  
 の毛1本の凹凸の違いまで分  
 かるという。若い人がガンに  
 侵された場合、非常に進行が  
 速いので、そのグローブを20  
 代で検診の機会の無い方や、  
 育児や日々の生活で時間の取  
 れない方に配布したらどう  
 か。本村でも、このグローブ  
 を導入すべきと思うが見解を  
 尋ねる。

**答弁** (村長) 医師の間でも  
 納得し、良いものだというこ  
 とになってから導入を考えたい。





一 般 質 問

聴覚障がい者対策について



はやし しょうこ  
林 昌子  
議員

**質問** 聴覚障害者手帳保持者人数は。そして聴覚に障がいのある方への窓口対応は。

**答弁** (保健福祉部長) 現在 21 名で、おおむね口頭にて対応できているが、できない場合は筆談により、相手の意思を確認している。

**質問** 音が直接耳に届き、はつきり聞こえる、窓口対応用の磁気ループ導入自治体が増えている。磁気ループに対する認識は。

**答弁** (保健福祉部長) 牛久市

や河内町で導入実績があることや、土浦市役所内には研修室や会議室、傍聴室に磁気ループシステムが設置されているようである。

**質問** より快適な窓口対応のため磁気ループ導入を検討すべきと考えるがどのようにお考えか。

**答弁** (保健福祉部長) 先進自治体の事例を参考に担当課窓口に設置し運用してまいりたい。

**質問** 会議用貸し出し制度に関しての見解は。

**答弁** (保健福祉部長) 他市町村の利活用状況を調査研究してまいりたい。

**質問** 本年度中では美浦村の

み未導入だが、村長としてはいつごろ導入とお考えか。

**答弁** (村長) 窓口対応の住民課、それから福祉介護課、最低 2 台位は早めの導入をしていきたい。

胃がん検診について

**質問** 現在の胃がん検診受診率と発症率は。

**答弁** (保健福祉部長) 平成 27 年度胃がん検診を受けた方は 852 人で受診率 16.7% で、胃がん発見率は 0.12% となっている。

**質問** ピロリ菌検査助成自治体が増えているがその現状は。

**答弁** (保健福祉部長) 常総市、水戸市、牛久市が平成 27 年度から、鹿嶋市が 28 年度から、土浦市が 29 年度から実施している。

**質問** 本村の導入検討はなされているか。

**答弁** (保健福祉部長) 導入については、国や県の見解や動向を見極め、近隣自治体を注視し、対応してまいりたい。

**質問** 便中抗原検査に関して認識されているか。

**答弁** (保健福祉部長) 便の中のヘリコバクターピロリ抗原を検出することにより、ピロリ菌感染がわかる検査である。

**質問** 今後の受診率向上対策は。

**答弁** (保健福祉部長) 未受診者の選定を行い個別干渉等を実施し、健診の大切さ、必要性についての認識を高めるような取り組みを継続し、受診率向上に努める。

## 水稻縞葉枯れ病のまん延防止について



しもむら ひろし  
下村 宏  
議員

数値だが、調査過程から、前年10%前後であった地域では、翌年30%以上の数値を示している地域が多く、本村では、霞ヶ浦沿岸の発病率が高い。

に対して、村から助成を行うよう検討する。

### 上下水道の健全性について

**質問** 7月の土浦地内建物火災で、消火栓からの消火活動の後、水道の水が茶色く濁ったとの問い合わせに対し、村はどのような対応をしたのか。

ている。農業集落排水事業は、74・6%の加入率となっており、本年は、27件の申込を受けている。なお、舟子や大須賀津地区の施設等は、修繕費負担も増えており、処理場の統合等も視野に入れ、検討をしていく。

### 運動機能回復訓練室の設置について

**質問** 介護・医療費の削減に向けて、身体機能を向上させる為に、みほふれ愛プラザ多世代交流ルームに村民が自由に利用できる運動器具の設置が出来ないか。

**質問** 本村の基幹産業である稲作に、イネ縞葉枯れ病が発生し農家に不安を与えている。県内各地で年毎に倍々の勢いで増えており、収量に大きな影響が出てきている。このイネ縞葉枯れ病の本村及び近隣市町の発生状況を探る。

**質問** ヒメトビウンカの防除

に対して、薬剤等を助成している市町が県内にあるのか、また、縞葉枯れ病がまん延しないよう、生産者の意識を高める為に、村から助成すべきと考えるが。

**質問** (経済建設部長) 防除

方法としては、田植前の育苗箱への薬剤が効果的とされ、守谷・つくば・つくばみらい市では薬剤へ助成を行っている。

**質問** 今後は速やかに広報車

等で伝えるよう要望する。次に、公共下水道・農業集落排水事業の加入率と加入推進策及び施設の効率的な管理、有効利用について尋ねる。

**質問** (保健福祉部長) 身体

運動の機能向上をさせる為、運動器具の活用をするには、利用者の体力に考慮した効果的な指導が必要とされている。安全性等考慮し、既存施設の有効利用を検討の上、施設の整備と体制を整えるよう努めていく。

**回答** (経済建設部長) イネ

縞葉枯れ病は、ヒメトビウンカと言う昆虫が媒介するウイルス病で、穂に感染すると糊が正常に実らない。今年の発生状況は、つくば市等で、35%前後の数値を示している。本村では、木原地区で13%の

**回答** (村長) 本村の基幹産

業である稲作農家に、ヒメトビウンカの防除を行う生産者

**回答** (経済建設部長) 公共

下水道は、工事予定地区に戸別訪問等を行い加入促進をし



一 般 質 問

幹線道路にかかる樹木及び宅地・休耕地の雑草の草刈について



たけべ すみお  
竹部 澄雄  
議員

**質問** 幹線道路及び宅地・休耕地に生い茂る樹木の伐採と雑草の除草について村の対応は。

**答弁** (経済建設部長) 幹線道路に隣接し交通の妨げになっている場合、官有地については速やかに村で対処し、民有地については原則として交通の支障を解消するよう所有者に指導している。美浦村環境美化条例に基づき適切な対応をお願いし、雑草除去が行われない場合は、文書により通知している。また、所有者が自ら除草することが困難な場合は、有償で村に草刈を

委託するようがされる。

光と風の丘公園の宿泊ロッジについて

**質問** 光と風の丘公園宿泊ロッジの管理と利用申し込み方法、利用件数及び利用者の公園施設利用数について

**答弁** (教育次長) ロッジハウスはシルバー人材センターに業務委託して貸し出しの予約、準備、使用後の清掃管理を行っている。ロッジハウスの予約方法は、クラブハウスの窓口で申請書を提出し、使用料を納めていただく。遠方の方はファックスでも受け付けており、使用料を振り込んでいただく予約完了となる。平成28年度のロッジハウス利用件数は村内1,052人、稲敷郡内927人、その他242人で、ロッジに宿泊

し公園施設を使用した方は124人でテニスコートと多目的競技場を利用している。

災害時の救助活動について

**質問** ドローンとオフロードバイクによる消防団員の救助訓練の実施について、3月の一般質問で検討するとの回答だったがその後の経過は。



**答弁** (総務部長) 茨城県立消防学校にドローン等の無償貸与状況を確認したところ、平成29年度内での整備計画はなく、来年度、または再来年度に無償貸与を検討しているとのこと。村としても消防学

校の整備及び指導体制が整い次第、積極的に参加していきたい。また、いなほ消防署にあるオフロードバイクでの訓練については、訓練中の事故による怪我への対応等、事前の準備が必要のため、いなほ消防署と十分に協議したい。

生徒の安全を守る反射板ベスト着用について

**質問** 他の自治体で採用している反射板ベストの着用について本村での導入は。

**答弁** (教育次長) 本村の新入学児童生徒への交通安全対策物品は、寄贈という形で行われており、反射板ベストの導入については費用負担が発生することから考えていないが、今後も交通安全教育に取り組むとともに、関係機関と連携し児童生徒の交通安全の確保のために努めてまいりたい。

## 防災行政無線の整備について



はなし こういち  
**葉梨 公一**  
 議員

**質問** ここ数年、歴史的に経験したことのない局地的なゲリラ豪雨や豪雪、とりわけ一昨年の関東東北豪雨などで各地において、甚大な被害が生じている。また、昨今の北朝鮮による頻繁なミサイル発射実験によって、日本国民の安全が揺るがされている。村民の安全安心を確保する為の対策として、防災行政無線の整備について村の考えを伺う。

**答弁** (総務部長) 有事の際の村民への情報伝達手段は、既に整備運用している災害に強い情報連携システムを

利用した防災メールの配信である。しかし、これは登録者のみしか情報が届かず、登下校など屋外の未登録者の方々には情報提供できないのが現状である。いづどこで起こるか分からない有事の際で幅広く、多くの村民に情報を迅速に提供しなければならぬ状況では、現在の防犯メールのみでは不十分であり、早急に関報系無線の設置を検討しなければならぬ状況となった。整備設置については、様々なメリット、デメリットがあるが各地のゲリラ豪雨や大規模地震の多発、北朝鮮のミサイル通過等を踏まえ、同報系防災行政無線の整備は必要と考える。

**答弁** (村長) 整備については課題はあるが、先進自治体の例も含め、後から整備する当

村としては、より良い整備を考えていきたい。

### 今後の道路建設事業計画について

**質問** 今後の道路建設事業計画について、村民の交通安全並びに交通の利便性を図るため、県道上新田木原線の木原地先から阿見町島津地先へ抜ける農道(村道1001号線)を拡幅再整備し、県道竜ヶ崎阿見線へ接続させて土浦市、つくば市方面への通勤通学、あるいは付近の高速道路を利用する際に利便性の向上が図れる。また、本村は霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟に参加しているが、この構想が実現した



際にもこの道路の利用価値が非常に高くなると思われるが、この計画の実現に向けて努力していただきたいと考えるが見解は。

**答弁** (経済建設部長) 平成29年第2回定例会の全員協議会で報告したとおり、完成形、暫定形を比較検討して、最も有益となる形で布佐上宿線の整備を推進してまいりたい。また、霞ヶ浦二橋建設促進期成同盟の活動により、建設に向けて実現性が見えてきたところで改めて村道1001号線について検討していきたいと考える。





一 般 質 問

動物愛護管理について



まつむら ひろし  
松村 広志  
議員

**質問** 「世界でいちばんかわいい花」という本をご存知だろうか。これは、ある女子高生たちが、ペット殺処分ゼロを目指し活動する中、処分されたペットたちの残された灰と共に、咲かせる美しく悲しい花の話である。国の統計によれば、平成27年度の犬猫殺処分数は、約9万2千匹となっている。過去10年間の推移を見れば、約三分の一にまで減少している。しかし、これは保健所の引き取り数が減少していることにも要因がある。動物愛護法の改正は保健所に対し、「可愛くなくなっ

た」などの安易な理由からの、引き取り依頼を拒否できるようにした。飼い主の身勝手な無責任な飼育放棄が、近隣住民からの苦情や、多数の殺処分につながるがっている。本村の取り組みを伺う。

**答弁** (経済建設部長) 犬

や猫は身近な動物であり、家族同様の存在として癒しと潤いを与えてくれる。一方で、飼育放棄や飼い主のマナー欠如、また無秩序な繁殖により捨てられ、結果、殺処分に至るケースが後を絶たない。「捨てず、増やさず、飼うなら一生」この認識が必要である。より周知するため、広報紙やホームページの掲載等で、地道に啓蒙してゆきたい。

**質問** 写真の子猫は、NPO

法人・犬猫共存推進会の方が

保護した時のものである。(子猫には右目にケガがあり、そして右前足の指がもぎ取られている) 米の人道協会が動物の虐待について重要なレポートをしている。それは、最も残酷な動物虐待は、家庭内暴力や児童虐待と重なって発生している、という事実である。



国内でも動物虐待と犯罪について、今までに無差別や連続殺人を犯した凶悪犯たちは皆、残酷な動物虐待を行っていた、との報告がされている。いま、ひとと動物の繋がりが問われている。温かな共生社会を目指すことは、本村の治安と安定に繋がる。平和で豊

かな社会は、私たちの心の中から生まれる。本村の取り組みを伺う。

**答弁** (保健福祉部長) 人と

動物の、調和のとれた愛情ある社会の推進はとても大切なことである。今後も本村の安定した発展に繋げるために、村民の方々への深いご理解に努めて参りたい。

「買い物弱者対策について」

**質問** 交通環境や生活事情等により、買い物に不便を来している方のために、食品販売車両の検討はどうか。

**答弁** (保健福祉部長) 導入

された自治体では採算や運営面で苦慮しているケースが多いようである。本村では、従来のコンビニの宅配サービスや、デマンドタクシーの利用等の充実を検討して参りたい。

国保のゆくえは？



おかざわ きよし  
 岡沢 議員

**質問** 平成30年度以降、国保の運営主体が、市町村から都道府県に移行する。保険税率の算定についてどう変わるのか。

**答弁** (保健福祉部長) 現在医療費分で4方式、後期高齢者支援分で4方式、介護分で2方式を採用しているが、所得割と被保険者数均等割の2方式を第1案に、さらに世帯平等割を加えた3方式を第2案として決定したい。

**質問** 税率そのものはどうなるのか。

**答弁** (保健福祉部長) 県から示された市町村標準保険料率を参考に決定したい。

**質問** 国保事業費納付金の算定について、国が示した算定ガイドラインでは3つの算定方式を設定されているが、本村として、どの方式が望ましいと考えるのか。

**答弁** (保健福祉部長) 市町村ごとの医療費水準と所得水準を考慮した算定方法が望ましい。



**質問** 財政調整交付金(普通調整交付金)、高額医療費共同事業費交付金、保険財政共同安定化事業交付金、一般会計の財政安定化事業繰入金等はどう変わるのか。

**答弁** (保健福祉部長) 県からの普通調整交付金は保険給付費交付金となる。高額医療費共同事業費交付金、保険財政共同安定化事業交付金は廃止されるが、30年度以降は県が交付金、納付金のしくみで財政調整を行う。財政安定化事業繰入金は30年度以降も交付税措置があると思われる。

**質問** 一般会計からの法定外繰入額の水準は変わるのか。

**答弁** (保健福祉部長) これまで被保険者の保険税負担軽減のため税率を据え置き、一般会計からの繰入金に依存してきたが、それが一般会計にとって大きな負担となっている。



税率を上げるとは加入者にとって負担増となるが、国の運営方針に沿って保険税率を見直し、法定外繰入金の縮減に努めたい。

**質問** 国民健康保険条例の改正時期はいつか。事前の議会への説明は。

**答弁** (保健福祉部長) 平成30年第1回定例会で改正を行いたい。議会への説明は、本年12月定例会で考えている。

## 議員活動

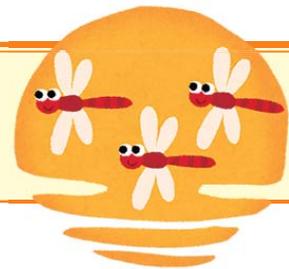
8月	1日	平成 28 年度決算審査～2日 福島県両沼地方町村議会議長会視察受け入れ
	2日	稲敷地方広域市町村圏事務組合議会臨時会・全員協議会
		江戸崎地方衛生土木組合施設整備検討委員会 平成 29 年度青少年非行防止巡回活動
	5日	広島市平和記念式典派遣事業～7日
	10日	競走馬調教場所在市村連絡協議会 茨城県町村議会議長会打合せ
	17日	後期高齢者医療広域連合議会定例会
	19日	地域身体障害者スポーツ大会 2017 いなしき夏まつり花火大会
	21日	関東町村議会議長会管外先進地行政視察～22日 美浦村教育講演会
	23日	茨城県戦没者追悼式
	24日	江戸崎地方衛生土木組合出納検査 町村会・議長会合同定例会 陸平貝塚安中保全活用の会理事会
	29日	議会運営委員会 議会地方自治研究会
	30日	美浦村産業文化祭実行委員会 美浦村国民健康保険運営協議会 村例月出納検査
31日	江戸崎地方衛生土木組合議会臨時会 陸平縄文ムラまつり第 2 回実行委員会	
9月	5日	議会定例会 議会全員協議会
	6日	議会総務常任委員会 議会経済建設常任委員会
	7日	議会厚生文教常任委員会
	8日	新焼却炉建設計画等調査特別委員会
	9日	美浦中学校体育祭
	10日	平成 29 年度ふるさとかわち秋季収穫祭
	11日	議会決算審査特別委員会 農業委員会定例総会
	12日	議会地方自治研究会視察
	13日	議会決算審査特別委員会 議会地方自治研究会 議会広報公聴委員会
	14日	議会定例会

9月	15日	議会定例会
	16日	各小学校運動会
	17日	美浦村敬老会
	20日	茨城県都市計画審議会
	21日	美浦村地域福祉計画・地域福祉活動計画策定委員会
	25日	江戸崎地方衛生組合決算審査及び出納検査
	27日	関東議長会会長会議～28日 美浦村高齢者福祉計画・介護保険事業計画推進委員会
29日	村例月出納検査	
30日	美浦幼稚園運動会	
10月	2日	美浦村国民健康保険運営協議会
	3日	県南町村議会議長会 ノーテレビ・ノーゲーム運動実行委員会
	5日	議会総務常任委員会視察研修～6日
	6日	金銭教育研究発表会
	7日	大谷・木原保育所運動会
	8日	第 52 回美浦村民体育祭
	10日	社会教育委員研修会
	11日	議会広報公聴委員会 4 団体（市長会・市議長会・町村会・町村議長会） 連絡会議
	12日	東日本町村議会議長会会長会議～13日 議会経済建設常任委員会視察研修～13日 陸平縄文ムラまつり第 3 回実行委員会
	13日	友好交流都市協定締結式 美浦村子ども・子育て会議
	15日	茨城県消防ポンプ操法競技大会県南南部地区大会
	18日	龍ヶ崎地方衛生組合議会全員協議会
	19日	茨城県町村議長行政視察～20日 議会厚生文教常任委員会視察研修～20日
	22日	陸平縄文ムラまつり
	24日	議会地方自治研究会
	25日	県南町村議会議員大会
	26日	都道府県会長会 村例月出納検査
27日	龍ヶ崎地方衛生組合議会定例会 長野県原村議会行政視察受け入れ 保育所児と高齢者のふれあい交流会	
28日	陸上自衛隊武器学校・土浦駐屯地 65 周年記念式典	
31日	市町村負担金審議委員会 龍ヶ崎地方衛生組合議会視察研修～2日	

次回定例会は、12月5日（火）開会予定です。

### 議会を傍聴してみませんか

- 役場 3 階の議場まで新設のエレベーターでお越しいただけるようになりました
- 役場 1 階のロビーでも本会議の実況をご覧になることができます
- 会議録や議会だよりなどホームページに掲載しています
- 議会だよりについてのご意見・ご要望をお待ちしています



お問い合わせ先

議会事務局

☎ 029-885-0340 内線 301・302

E-mail gikai@vill.miho.lg.jp

URL <http://www.vill.miho.lg.jp/page/dir000035.html>

### 議会広報公聴委員会

委員長	山崎 幸子	副委員長	岡沢 清	委員	椎名 利夫
委員	飯田 洋司	委員	塚本 光司	委員	小泉 嘉忠
委員	葉梨 公一	委員	竹部 澄雄	委員	松村 広志